

SFRM通信

一般社団法人 難燃材料研究会

1. 高度化する情報社会と材料の役割

生成 AI の進化が目覚ましい。当研究会のコラムでも何度か話題として取り上げられているが、数カ月程度の間隔でも、受け答えの質や速度の向上を実感できる。筆者も業務・私生活の両面で生成 AI を活用する機会が増えているが、最近では高度なモデルに専門的な内容を相談すると、返ってくる膨大な情報を理解するために、筆者自身にも相応の学習が求められることが多い。

生成 AI を支える高度な演算には、高密度な電力供給や高機能な材料が不可欠である。中でも、データセンター内に設置されるサーバー筐体、電子回路基板、ケーブル被覆材料など、無数の電気信号・光信号が行き交う機器や配線の周辺では、難燃材料が使用され、予期せぬ火災リスクの低減に寄与している。データセンターに限らず、演算、通信、電力供給等に関わる材料への要求は、今後さらに複雑かつ高度なものとなり、材料選定の難易度も高まっていくだろう。

そのような状況の中で、限りある資源・エネルギーを有効に利用していくためには、個々の材料や部材の性能だけでなく、システム全体を見渡した上で、材料の適材配置を判断することが重要になる。高度な演算は、その判断に必要な情報収集や整理を助けてくれる。一方で、最終的な判断の主体が人間である限り、人間同士のコミュニケーションの重要性は、今後も変わらないのではないかなと思う。

(難燃材料研究会 運営委員 白井)

2. 創立 30 周年記念シンポジウム 早期申込まもなく締切！

創立 30 周年記念となる「2026 年度 第 12 回 難燃シンポジウム」の開催まで、1 か月を切りました。

2026 年 8 月 16 日(日)までは早期申込としてお得にご参加いただけます。

ご検討中のかたは、ぜひお早めにお申し込みください！

■開催概要

日時:2026 年 9 月 8 日(火) 10:00~17:00

会場:京都工芸繊維大学 60 周年記念館(現地会場+オンライン配信のハイブリッド開催)

■プログラム

創立 30 周年記念の挨拶に続き、「先端自動車用樹脂材料の技術・環境規制の動向」を中心テーマとした講演が行われます。国内外の難燃剤規制の動向や代替剤の開発状況、自動車メーカー各社による技術・研究発表、一般応募発表などが予定されています。

詳細なプログラムや講演者の情報は、下記申込ウェブサイトをご覧ください。

<https://sfrm.or.jp/2026/06/23/2026-12th-fr-symposium-outline/>

■申込方法

申込締切:2026 年 8 月 30 日(日) 午前 12:00 まで

下記の申込フォームよりお申し込みください。

URL: <https://vb.wufoo.com/forms/q1rqsdqm0qtvflr/>

※早割締切:2026 年 8 月 16 日まで

※懇親会締切:2026 年 8 月 18 日 午前 12:00 まで

■一般応募発表の募集

新しい難燃技術や関連製品に関する発表を募集しています。

8/14(金)12 時まで、募集を延長しておりますので、奮ってご応募ください。

対象:研究者、学生、企業

発表時間:20 分間(質疑含む)

発表費用:10,000 円(学生は無料、別途シンポジウムへの参加費用が必要)

URL: <https://sfrm.or.jp/2026/06/23/2026-12th-fr-symposium-general-app-info/>

3. 【PACMA 2026】難燃材料分野 日本初の国際会議開催 | プログラム公開！

2026 年 9 月 9 日～11 日に京都工芸繊維大学にて、第 1 回「Polymer Additive, Composite, and Manufacturing Asia (PACMA 2026)」がいよいよ開催されます。

本カンファレンスは、アジアおよび世界中から「高分子添加剤」「複合材料」「先進製造技術」の第一線で活躍するトップ研究者や有力企業が一堂に会する国際会議です。

持続可能な材料設計や高強度・軽量化技術、生産プロセスの最適化など、未来のモノづくりを革新する最先端の知見とネットワーキングの機会をワンストップで提供する点が最大の魅力です。

このたび、待望の公式プログラムが公開されましたのでご案内いたします。

▼ 公式プログラムの詳細はこちら

<https://pacma2026.com/program-2/>

※プログラムは暫定版です。今後、変更の場合がございます。

また、「PACMA 2026」と「第 12 回 難燃シンポジウム」の両方に参加できる特別セットプラ

ンをご用意しております。

それぞれの単体を個別に申し込むよりも大幅にお得になります。ぜひご活用ください。

【一般(通常)価格の場合】

PACMA およびシンポジウムの単体合計 125,000 円

⇒ PACMA セットプラン 85,000 円！

※セットプランの詳細はシンポジウム開催ページから：

<https://sfrm.or.jp/2026/06/23/2026-12th-fr-symposium-outline/>

■ 開催概要

✓ 名称：PACMA 2026 (Polymer Additive, Composite and Manufacturing Asia 2026)

✓ 会期：2026 年 9 月 9 日(水)～11 日

✓ ウェルカムレセプション：2026 年 9 月 8 日(火)

✓ 会場：京都工芸繊維大学(京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 19)

✓ 公式サイト：<https://pacma2026.com/>

■ PACMA 2026 の特徴

✓ 難燃材料分野では日本初開催の国際会議

✓ 世界トップレベルの研究者 15 名以上が講演

✓ 若手研究者とのネットワーキング機会

✓ EV・蓄電池・航空宇宙・電子材料・建築材料の最新技術動向を把握

✓ 海外研究機関との共同研究・技術提携の機会

✓ 発表・展示・交流を通じた新たなビジネス創出

■ 基調講演(Plenary Talk)

【Prof. Frank HENNING】

Karlsruhe Institute of Technology(ドイツ)

“Next-Generation Composite Technologies: Materials and Processes”

日本語テーマ：「次世代複合材料技術と先進成形プロセス」

自動車・航空宇宙分野を中心とした最先端複合材料技術を紹介します。

【Prof. Chaobin HE】

National University of Singapore

日本語テーマ：「先端高分子材料と未来の機能性材料開発」

高分子材料の高機能化と産業応用の最新動向を紹介します。

4. 製品開発技術展「N-Plus2026」に出展します！

今年も東京ビッグサイトにて開催される「N-Plus 2026」に出展いたします。

例年同様、当会の企業団体会員複数社との共同出展を予定しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- ・会期:2026 年 11 月 11 日(水)～13 日(金)
- ・会場:東京ビッグサイト(東ホール)
- ・詳細:「N-Plus 2026」公式サイトをご覧ください。

<https://www.n-plus.biz/>



【発行元】

一般社団法人 難燃材料研究会

Web: <https://sfrm.or.jp/>

Mail: sfrm@supportoffice.jp

Tel:03-5946-8573